



横浜港新本牧地区のコンテナターミナルを形成する岸壁及び護岸(防波)の整備を行います。

●現在施工中の工事

	工事名	工期	施工会社
岸壁 ①	令和5年度 横浜港新本牧地区岸壁(-18m)(耐震)築造工事(その2)	R5.10.16 ~ R7.1.15	東亜・あおみ・大本JV
	床掘、基礎工、本体工(セル2函 製作・設置)		
護岸 南側 ②	令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側築造工事	R6.1.10 ~ R6.12.13	あおみ建設(株)
	基礎工、本体工(ケーソン5函 設置)		
護岸 東側 ③	令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)東側築造工事	R6.2.19 ~ R6.12.20	東亜建設工業(株)
	基礎工、本体工(ケーソン3函 設置)		
中仕切堤 ④	令和6年度 横浜港新本牧地区中仕切堤他海上地盤改良工事	R6.6.18 ~ R7.10.10	東亜・みらいJV
	敷砂、地盤改良(SCP)、地盤改良(CDM)		



R6.10.15撮影

護岸
A

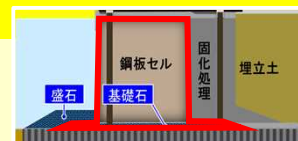
岸壁

護岸
南側

護岸
東側



①令和5年度 横浜港新本牧地区岸壁(-18m)(耐震)築造工事(その2)



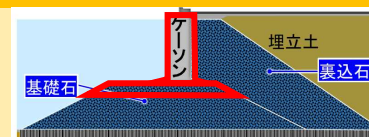
製作ヤードから新本牧地区まで鋼板セルを運搬します。この工事では2函の鋼板セルを据付けます。



φ24.5m×高さ約26mの円筒状の鋼板セルを新本牧地区まで運搬し、許容誤差±20cmの精度で据付けます。

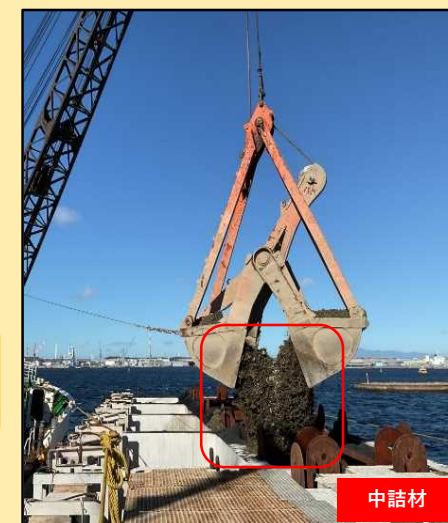


②令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側築造工事



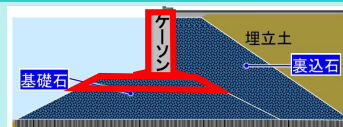
製作ヤードから新本牧地区までケーソンを運搬します。この工事では5函のケーソンを据付けます。

ケーソン据付後は、据付当日中に中詰材を投入することでケーソン全体の重量を増やし、波などの外力に対して早期に安定させます。





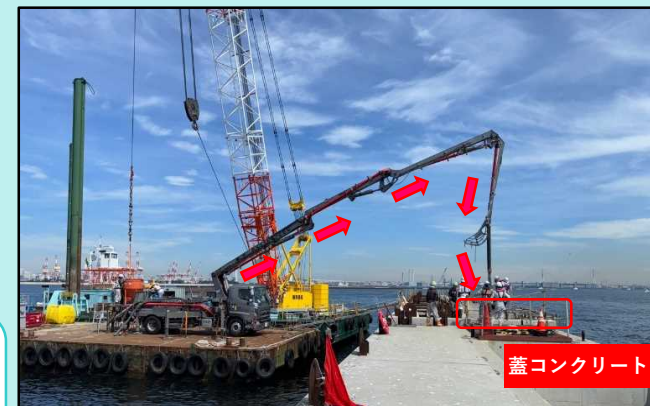
③令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)東側築造工事



製作ヤードから新本牧地区まで
ケーソンを運搬し、この工事では
3函のケーソンを据付けます。



ケーソンに中詰材を投入した後は、海
上でコンクリート打設を行いケーソン
に蓋をすることで、中詰材の流出を抑
えます。



④令和6年度 横浜港新本牧地区中仕切堤他海上地盤改良工事



ケーソン等の重量物を設置する範囲について、
軟弱地盤を改良し、強固な地盤を作ります。



まず、濁り防止などを目的に事前に砂撒き船
により敷砂を行います。その後、サンドコンパ
クションパイル(砂杭)を造成して地盤改良を
行います。

